

アンド アゲイン
令和5年度企画展「And Again」

諏訪市美術館では、7月22日(土)～9月24日(日)で、添付チラシの通り、
展覧会を開催いたします。ぜひご取材いただきますよう、お願いいたします。

1. 会期 令和5年7月22日(土)～9月24日(日)
2. 場所 諏訪市美術館 展示室
3. 入館料 大人520円、小中学生150円 ※諏訪地域小中学生無料

4. 内容

諏訪市美術館では平成25年度から学校連携事業に取り組んできました。平成27年からは「学校連携展」という名称で市内の小・中・高等学校と諏訪地域出身や在住、諏訪の地域性に関心を持つ作家と連携した展覧会を行ってきました。

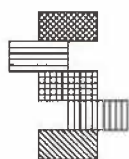
本展では、これまで学校連携展に関わった8組の作家を、2年にわたり特集するものです。本年度は、ときだやすよし常田泰由、げんまなほ源馬菜穂、おがわいたる小川格、まつもとはるたか松本春崇の4名の作家の現在を紹介する機会とします。

学校連携展を通して諏訪と関わりを持った作家たちが、再び諏訪市美術館を会場に展示を行います。それぞれの作家の新たな作品を、ぜひご覧ください。

5. その他

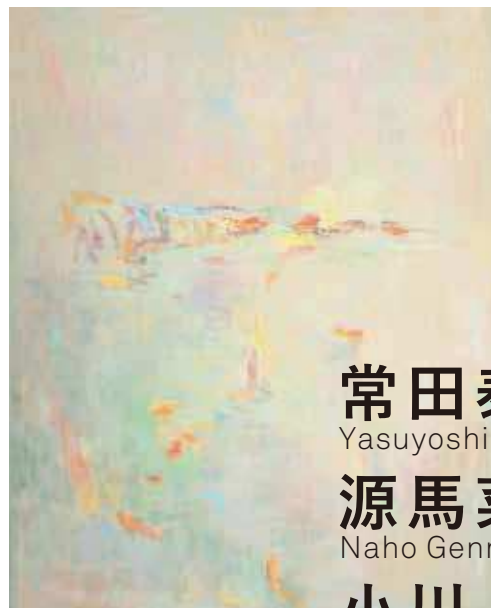
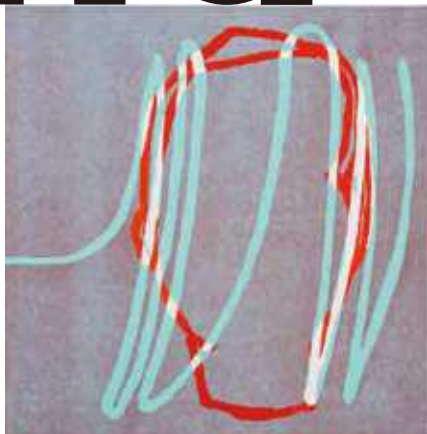
7月21日(金)午後4時から、マスコミ向けの内覧会を行います。展示作家が来場いたしますので、ぜひご取材くださいますよう、お願い申し上げます。

★詳しくは、担当者へお問い合わせいただくか、ホームページをご覧ください。



令和5年度 諏訪市美術館 企画展 2023.7.22 (sat) — 9.24 (sun)

And Again



常田泰由
Yasuyoshi Tokida

源馬菜穂
Naho Genma

小川 格
Itaru Ogawa

松本春崇
Harutaka Matsumoto

|会期| 令和5年7月22日(土) - 9月24日(日)

|休館日| 月曜日、祝日の翌日

7/24、31、8/7、14、21、28、9/4、11、19 ※8/12、9/24は臨時開館

|開館時間| 午前9時~午後5時(入館は4時30分まで)

|企画展料金|

一般(高校生以上) 520円

子ども(小中学生) 150円

一般団体(20名以上) 410円

子ども団体(20名以上) 100円

障がい者(介助者1名まで同額) 150円

※諏訪地域の小中学生は無料。

主催: 諏訪市美術館

後援: 信濃毎日新聞社 長野日报社

市民新聞グループ(7紙)

NBS長野放送 abn長野朝日放送

TSBテレビ信州 エルシーブイ株式会社

諏訪美術会 諏訪市美術会 信州美術会



諏訪市美術館
SUWA CITY MUSEUM OF ART

常田泰由は、もののかたちやその組み合わせに目を向け、版画作品を中心にコラージュやアートブックなど多様な展開をしています。源馬菜穂の淡い色彩と伸びやかな筆致で描かれた風景は、私たちの記憶にある場所と繋がります。小川格が描くのは中空なものイメージです。それは多重な意味を持ち、柔らかく画面に浮遊します。松本春崇は、「四つ」をテーマに、縄文土器のようなひもや縄の痕跡による表現で描いています。

この4名は、学校と作家と諏訪市美術館が連携する「学校連携展」を行った作家たちです。そして再び、この場所でそれぞれの新たな作品を紹介します。



常田泰由 1980年下諏訪町生まれ。東京造形大学造形学部絵画専攻卒業後、愛知県立芸術大学大学院美術研究科油画専攻を修了。現在、東京造形大学助教。太田市美術館図書館での展示や美術館等でのワークショップなど、多様な展開を行う。

源馬菜穂 1985年諏訪市生まれ。愛知県立芸術大学美術学部油画専攻卒業後、同大学大学院美術研究科博士前期課程を修了。2018年より岡谷市を拠点に活動する。長野県立美術館での公開制作展をはじめ様々な展覧会へ出品し、精力的に活動を行う。

小川 格 1969年東京都生まれ。ベルギー王立アントワープ美術アカデミー(ベルギー)修了後、2002年より茅野市を拠点に活動。ワークショップやアートプロジェクトの企画・運営、Ongoing Collectiveへの参加など、多様な活動を行う。

松本春崇 1958年滋賀県生まれ。多摩美術大学大学院美術研究科修士課程修了後、フランス政府給費を受けエコール・デ・ポザール パリ(フランス)に留学。2003年に文化庁新進芸術家海外研修員としてアメリカ ニューヨークに滞在。国内外で個展、グループ展など多数。

表面 左上:常田泰由 『w/f』 2021年 撮影 柳場 大 右上:松本春崇 『縄文式ちょっとマレヴィッチ「農夫の頭部」』 2022年 左下:小川 格 『ワルブルグスの夜』 2022年 右下:源馬菜穂 『日の終わりⅢ』 2022年 撮影 青木真一 裏面 左上:小川 格 『実存ゴッコ』 2022年 右上:常田泰由 『mb 46』 2021年 撮影 柳場 大 左下:源馬菜穂 『雨と光Ⅱ』 2022年 撮影 青木真一 右下:松本春崇 『縄文式ちょっとマレヴィッチ「草刈り人」』 2022年

つきいちアート7月

「誰でもマティス!?!」

小川格さんと展示作品を鑑賞後、画家・アンリ＝マティスのような切り抜きによる作品を作ります。

日時:7月29日(土) 14:00～15:00

場所:諏訪市美術館 参加費:100円

定員・申込み:10人、要申込み ☆

つきいちアート8月

「透明水彩絵具でお気に入りの風景を描こう」

源馬菜穂さんと展示作品を鑑賞後、透明水彩絵具であなたのお気に入りの風景を描きます。

日時:8月5日(土) 9:30～12:00

場所:諏訪市美術館 参加費:300円

定員・申込み:8人、要申込み ★

「小さな本を作ろう」

常田泰由さんと展示作品を鑑賞後、小さな本を作ります。参加者が交流しながら製本まで行います。

日時:8月5日(土) 13:00～16:00

場所:諏訪市美術館 参加費:500円

定員・申込み:8人、要申込み ★

つきいちアート9月

「縄文原体で絵を描こう」

松本春崇さんと展示作品を鑑賞後、ひもや縄を使って縄文人のように絵を描きます。

日時:9月9日(土) 14:00～15:30

場所:諏訪市美術館 参加費:300円

定員・申込み:10人、要申込み

☆小学生低学年以下は保護者をご参加下さい。

★小学生中学年以上対象。小学生は保護者をご参加下さい。

学芸員によるギャラリートーク

日時:8月13日(日) 14:00～14:30

場所:諏訪市美術館

参加料:入館料のみ

定員・申込み:なし